

大和都市計画地区計画の決定(橿原市決定)

1 都市計画 奈良県立医科大学地区 地区計画を次のように決定する。

名 称		奈良県立医科大学地区 地区計画
位 置		橿原市四条町の一部
面 積		約 12.8 ha
区域の整備・開発・保全に関する方針	地区計画の目標	<p>本地区は、橿原市のほぼ中央部に位置し、県中和地域の東西の骨格道路である大和高田バイパスに近接するなど、高い交通利便性を持つ。また、区域の一部に風致地区を含み、畝傍山を中心として、神武天皇陵等の陵墓や、周辺の集落・農地が一体となり、豊かな歴史・自然環境を形成している。</p> <p>この地区において、これまで継承されてきた風致の保全方針を尊重しながら、良き医療人を育成するために充実した学習・教育環境を確保し、地域の人等とのコミュニケーションを行える空間を形成して、周辺地域と調和のとれた奈良県立医科大学のキャンパス整備を目指す。</p>
	土地利用の方針	<p>大学施設等の整備に際しては、風致の保全方針における視点場等からの眺望を意識し、周辺の史跡や森林等と調和した土地利用を図る。特にB地区においては、積極的な緑化に努める。</p>
	建築物等の整備の方針	<p>地域の特性を踏まえ、それぞれ次のような制限を定めて健全な都市環境の形成を図る。</p> <p>(1) 用途の混在による環境の悪化と建築物の過密化を防止するため、建築物の用途の制限、建蔽率・容積率の最高限度及び壁面の位置の制限を定める。</p> <p>(2) 良好な景観と調和した地区の整備を進めるため、建築物等の高さの最高限度、建築物等の形態又は意匠の制限、建築物の緑化率の最低限度及びかき又はさくの構造の制限を定める。</p>

2 地区整備計画

地区整備計画	建築物等に関する事項	地区の区分	地区の名称	A地区	B地区
		地区の区分	地区の面積	約 1 1 . 6 ha	約 1 . 2 ha
		建築物の用途の制限		建築することができる建築物は、次に掲げるものとする。 (1) 大学施設 (2) 前号に掲げる建築物に附属する建築物。ただし別表 1 に定める数量を超える危険物(同表に数量の定めのない場合にあってはその数量を問わないものとし、地下貯蔵槽により貯蔵される第 1 石油類、アルコール類、第 2 石油類、第 3 石油類及び第 4 石油類を除く。)の貯蔵又は処理に供するものを除く。 (3) バスの停留所の上屋	
		建築物の容積率の最高限度		1 0 0 %	1 0 0 %
		建築物の建蔽率の最高限度		6 0 %	3 0 %
		建築物の高さの最高限度		1 5 m	1 0 m
		壁面の位置の制限		敷地境界線から建築物の外壁又はこれに代わる柱の面までの距離の最低限度は 1 m とする。 道路境界線から建築物の外壁又はこれに代わる柱の面までの距離の最低限度は 2 m とする。 ただし、バスの停留所の上屋は除く。	
		建築物等の形態又は意匠の制限		1 建築物の外観は、落ち着いた低彩度の色彩※ ¹ を用い、装飾※ ² を避け、周辺の集落の屋根並み、史跡や森林等の眺望・景観と調和するよう配慮したものとする。 ※ 1 橿原市景観計画自然風致保全エリア景観形成基準による。 ※ 2 光又は明かりを用い、点滅する装置を含む。 2 表示又は掲出することができる屋外広告物は、自己の用に供し、周辺の眺望・景観と調和するように位置、大きさ、設置方法、色彩等に配慮したものとする。 3 屋上広告物を設置してはならない。	

地区整備計画	建築物等に関する事項	建築物の緑化率の最低限度	3 %	3 0 %
		かき又はさくの構造の制限	敷地内にかき又はさくを設ける場合は、原則として、宅地地盤面から2．0 m以下のフェンス等で、美観を損ねるおそれのないものとし、フェンス等の下に積むコンクリートブロック類の高さは、宅地地盤面から6 0 c m以下とする。ただし、生垣等の植栽によるもののほか、かき又はさくの機能上必要と認められる場合は、この限りでない。	
区域は、計画図表示のとおり。				